

(義援金に対するお礼状)

師走の候 貴事務局におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年8月31日、本道を襲った台風10号は、本町室知川の氾濫による堤防の破堤を引き起こし、市街地の約3分の1が浸水するという未曾有の大災害となりました。

この堤防破堤により、住宅を含む多くの建物が浸水被害を受けたところではありますが、関係機関のご協力をはじめ、全道及び全国各地から述べ5千8百人を超える多くのボランティアの方々の活動によりまして、被災地域は日常を取り戻しつつあるところでもあります。

この度の災害発生に際しましては、物心両面において心温まるご支援、ご協力を賜りましたことに対し、町民を代表いたしまして心から感謝とお礼を申し上げる次第であります。

お寄せいただきましたご厚意につきましては、既に被災者支援のための義援金としてお配りさせていただいたところでもあります。

災害発生から1年3カ月経過し、個人住宅や公共施設につきましては既に復旧を終え、現在は被災農地や公共インフラ等の復旧工事が急ピッチで進められているところでもあります。ご支援いただきました皆様には今後ともまらの復興に向けまして、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

本来でありましたら拝顔のうえご挨拶を申し上げるべきところではありますが、誠に失礼とは存じますが書中をもってお礼に代えさせていただきます。

なお、この度のご支援に対するお礼が大変遅くなりましたことを心よりお詫び申し上げます。

平成29年12月

日本鳥学会 2016年度大会事務局 様

南富良野町災害対策本部長

南富良野町長 池 部 彰